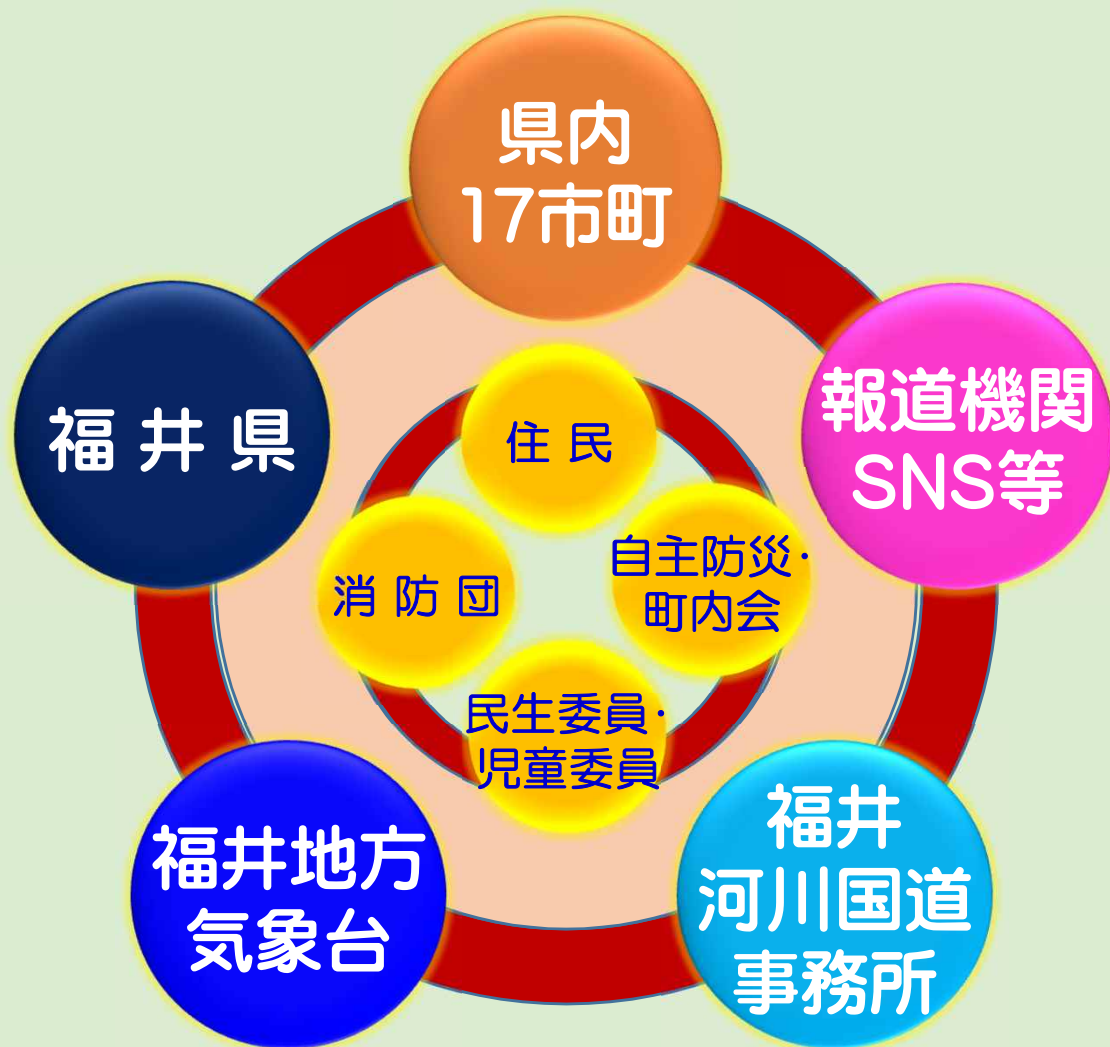


ふくい県域タイムライン



ふくい県域タイムライン策定部会
令和5年6月9日試行版

◆目的

令和4年8月大雨の振り返り（AAR）の改善策として、災害時に関係機関が危機感を共有する体制を構築し、災害に対する危機感共有、早期の準備や避難指示等の迅速な意思決定につなげるため、令和5年度出水期から「ふくい県域タイムライン」の試行運用を開始する。



定義

福井県全域を対象に、国、県、市町等関係機関が、水害・土砂災害が発生することを前提として、「いつ」「誰が」「何をするか」等の事前に取りべき行動を時系列で整理した行動計画

◆効果：県域全体の防災力向上

効果01

適時・的確な意思決定と防災対応

関係機関と全市町が今後の気象の見通しや対応状況を共有し、状況に応じた体制を取ることで、適時・的確な避難情報発令等の意思決定を可能に

効果02

早い段階での危機感共有

メーリングリストやWEB会議を活用し、災害の可能性のある早い段階で危機感共有、早めの防災対応が可能に

効果03

連携の強化

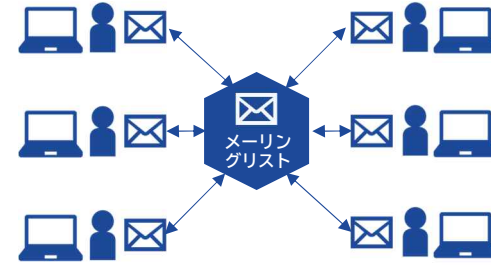
タイムラインの策定や運用を通じ「顔の見える関係」を構築し、避難情報発令基準等の足並みをそろえ、対応の遅れをゼロに！



◆運用支援ツール

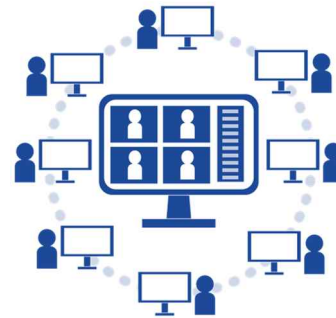
1 メーリングリスト

→情報共有の一元化・迅速化を図るため、平常時に連絡先を共有



2 WEB会議

→住民にわかりやすく災害情報を伝達するため、報道機関も含めた関係機関で危機感を共有



3 情報共有プラットフォーム

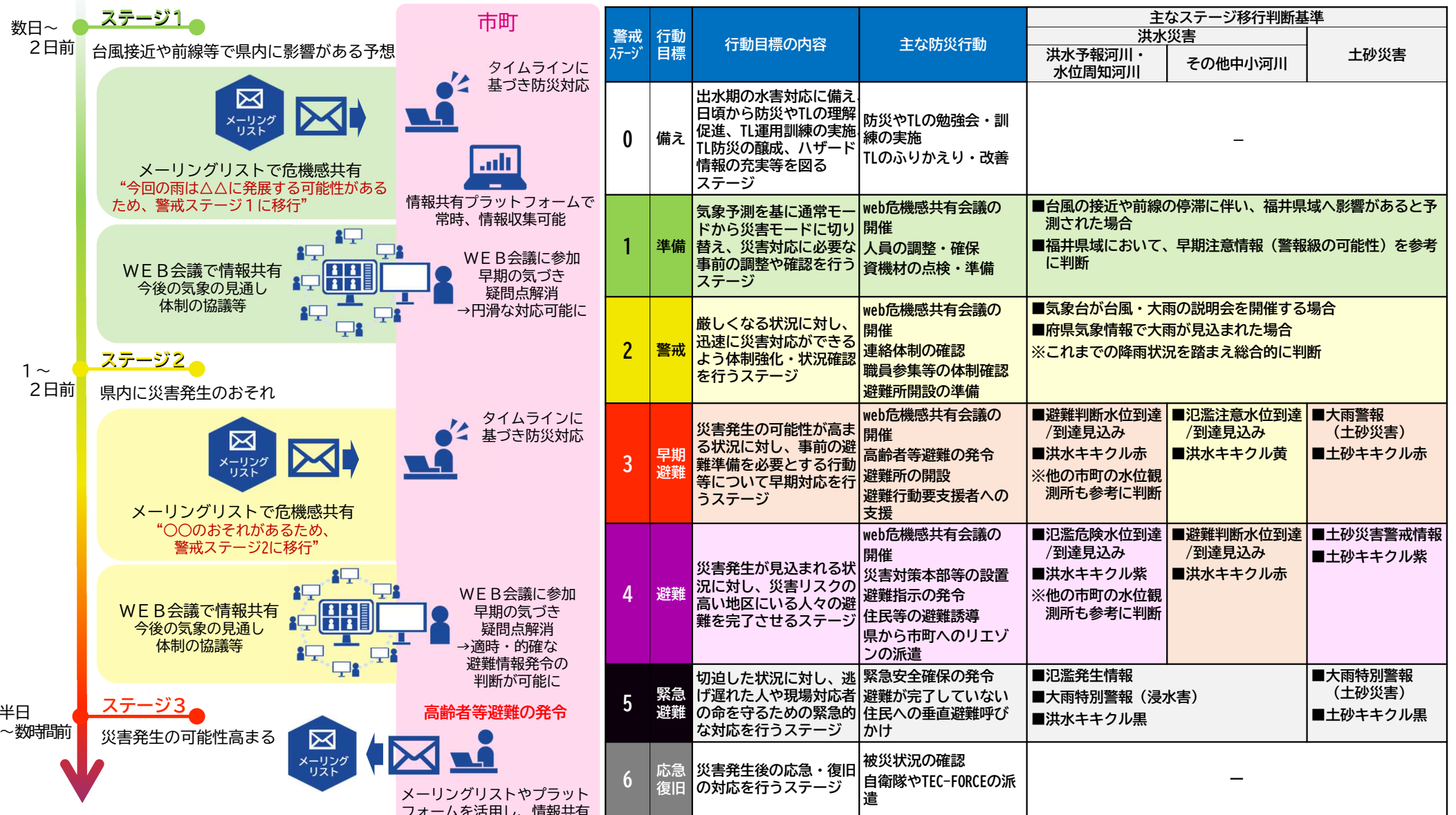
→状況把握を迅速化するために気象情報や水位、河川カメラの情報を集約



ふくい県域タイムライン運用イメージ

- ・タイムラインに基づく早めの防災対応で県民の**安全安心**を守る
- ・市町毎に、河川規模に応じた洪水や土砂災害に対する避難情報発令の判断基準を設定

◆ステージ1～3 およその時間と状況



以降、各市町で災害のおそれの高まりに伴い各自ステージ移行

※TL：タイムライン

※洪水予報河川については、警戒ステージ3～5で発表される指定河川洪水予報も基に避難情報発令を判断

タイムライン運用で得られた課題・教訓をもとに**内容の見直し・改善を行い、防災力を向上**



令和4年8月大雨に関するふりかえり会議



タイムライン勉強会



タイムライン策定部会

ふくい県域タイムライン策定部会構成メンバー

部会長 松尾 一郎（東京大学大学院 客員教授）

福井市 敦賀市 小浜市 大野市 勝山市 鯖江市

あわら市 越前市 坂井市 永平寺町 池田町 南越前町

越前町 美浜町 高浜町 おおい町 若狭町

福井地方气象台

近畿地方整備局 福井河川国道事務所 九頭竜川ダム統合管理事務所

福井県